

お待ちかね黒千石豆の販売開始

農業部が昨年栽培した黒大豆「黒千石」をいよいよ販売します。

昨年は猛暑と少雨で収穫量が少なく、虫がついて販売できない豆の品種もありました。黒千石は幸いにも食害はなく、このほど選別が終わりました。

お買い求めは「食べチョク (https://www.tabechoku.com/)」からお願いいたします。

くろせんごく



カウンター模様替え



カフェのカウンターを1月に模様替えしました。

商品が見やすく、会計の時に手に取って選び購入して下さるお客さまが増えました。お越しの際はぜひご覧ください。

コミュニティカフェわっくわくではご来店の際は、黙食と歓談時のマスク着用にご協力をお願いしています。

精神科医 土田正一郎の

その68 真面目



真面目はとても大切な人の徳性である。でも「生真面目」にならないようにしたい。生真面目は、焼しめた鉄が硬いけれど、外力に抗しきれなくなるとぼきんと折れてしまうような脆さをも内包する感じ。カッコいい真面目さは、外力をたわみながら吸収して、ポワンと弾き返す感じ。真面目でいることは意外に難しい。

各事業報告～3月末日現在

障がい者就労支援事業所
ワークショップようてい

契約者数/移行3人、B型21人

グループホーム
よろこび

利用者数 20人 (空室2)
見学者 男性4人、女性4人

K.S.C. Juntos

当事者選手 8人
サポートスタッフ 4人

- ◆法人会員 正会員23人
賛助会員 団体2団体 個人56人
- ◆今年度寄付金 のべ12人 245,000円
- ◆寄付物品 牛乳パック、切手、お菓子、珈琲豆

編集後記



お久しぶりです。3月に育児休業を終えて職場に復帰しました。しばらく広報紙の発行ができず申しわけありません。この5か月間妻と分担して息子の育児や家事全般をこなしました。二人での子育ても大変なのに、「ワンオペ育児」の大変さは想像を絶します。仕事と育児・家事が両立できる環境に感謝し、これからも両方がんばります。(かわさき)

通信 とともに

第84号

2022年4月1日発行
認定NPO法人とともに

住所 〒044-0053
北海道虻田郡倶知安町北3条西2丁目1-1
でんわ (0136) 55-5828
FAX (0136) 55-5829
Eメール info@npo-tomoni.com

ホームページ <http://www.npo-tomoni.com>

ブログ <http://blog.canpan.info/npotomoni/>

今月の一枚



3月11日撮影 当事業所では融雪剤代わりに細かくした豆殻(左下丸写真)をまいています

早い雪解け願いの
ワークショップようてい圃場
豆の殻まき

倶知安町役場展望テラスで販売開始

倶知安町役場は昨年5月に新庁舎へ移りました。3階には展望テラスがあり、羊蹄山を一望できる広い窓を見ながらゆったりと過ごすことができます。

そのテラスで、ワークショップようていの商品を月一回、第4木曜日12時ごろから販売しています。調理部はチーズケーキとガトーショコラ、製造部はキャンドルやサシェ(3ページ参照)などの手芸品を並べています。



役場の方の話では、読書、飲食、自習、ちょっとした打合せなどでテラスを利用する町民が増えているそうです。

みなさんもぜひ販売日に役場テラスにいらしてください。お待ちしております。



倶知安町役場3階
展望テラス
倶知安町北1条東3丁目

新役員にきく② 高橋宏幸さん（(株)マルテン高橋）

「新役員に聞く」2回目は、前回の後藤さんと同じく今年度から理事になった高橋宏幸さんです。さまざまな活動の中で障がい者支援に興味を持ったとのこと。そのエピソードを聞きました。

（昨年9月13日取材）

— 今の仕事の前はどんなことをされていたのですか？

高橋 高校卒業後に専門学校でデザインを学んだあと、内視鏡などの医療機器や双眼鏡などの工業デザインをしていました。その後家業を継ぐことになり、倶知安に戻りました。

— 仕事内容が大きく変わりましたね。デザインへの思いは変わらなかったのですか？

高橋 北海道に戻ってから、道のデザイン公募に個人的に応募したら採用されたんです。それを知った得意先の知人が「美術館建設に関わってくれないか？」と誘われ、今では「小川原脩記念美術館友の会」の会長として活発に意見交換をしています。

— 仕事内外の密接な関わりから出会いが生まれたんでしょね。その中で障がいを持った方への関心のきっかけを教えてくださいませんか？

高橋 私の子の関係でPTA会長をしていたころ、友人から「障がいを持ったうちの子のために倶知安を離れなければいけない」という話を聞きました。「本人や家族が倶知安に残れるようにできないだろうか」と思うようになり、関心を持ちました。

— 特別支援の高校は近くても余市町ですし、地元を離れざるをえないのはとてもつらいですね。当法人は主に精神障がい者を支援していますが、特別支援学校を卒業した方も多く利用しています。今年度からの新理事にあたり、どのような活動をしていきたいですか？

高橋 活動をしていくと「こうなったらいいのにな」と思う部分が出てきます。その気持ちを大切にすることが問題意識のきっかけになるかなと思うのです。それを大切にしたいですね。今年度から新しい理事として関わることがとても嬉しく思います。



たかはしひろゆき
高橋宏幸さん

（株）マルテン高橋 代表取締役

専門学校卒業後、富士写真光機（現富士フイルム）に入社。その後倶知安に戻り、父の跡を継いで（株）マルテン高橋を運営している。

倶知安青年会議所の理事長や倶知安消防団など多彩な経歴を持つ。

取材を終えて

高橋さんは仕事以外の活動も精力的で、そのバイタリティに驚き、それが地域の活性化につながっているのではないかと考えました。

本文でも書きましたが、高橋さんが話した「こうなったらいいのにな」という思いが活動の原点というのは、まさに地域福祉や地域活動の原動力となりうると思いました。私たちも「こうなったらいい」という思いを胸に抱き、仕事を進めていければと思います。（かわさき）

障がい者就労支援事業所
ワークショップようてい

新たな委託作業に張り切っています！

今年2月から「株式会社Cafemocha」様からの委託作業を請け負っています。

京極町に店舗を構える「つやごし京極プリン Cafemocha Factory（京極町字京極157番地）」で製造しているプリンにつけるタグに輪ゴムを通す作業で、製造部を中心に行っています。一つ一ついいいな作業に努めています。

つやごし京極プリンの詳しいことは公式ホームページへどうぞ（<http://kyogoku.shop/>）下のQRコードにリンクを貼っています。



写真提供：株式会社Cafemocha



障がい者就労支援事業所
ワークショップようてい

新商品ぞくぞく開発～製造部

製造部新開発の商品をご紹介します。

○アロマワックスサシェ

サシェとは「香り袋」のこと。プルメリアやローズなど10種類の香料を組み合わせ、香りに合ったドライフラワーをソイワックスで閉じ込めました。自然の優しい香りドライフラワーの可愛さをお楽しみください。

○アロマキャンドル

香りはラベンダーとスイートオレンジをブレンドし身体にも環境にもやさしい天然素材でつくりました。暗くした浴室でキャンドルに火をとると癒されることうけあいです！

カフェわっくわくや月一回の役場販売で好評発売中です。サシェは「PIPPO」でもネット販売しています。

何度もブレンドの種類や量を変え試行錯誤した商品開発の秘話は次号に掲載する予定です。



アロマワックスサシェ
（壁掛けタイプ）
1個800円



アロマキャンドル 缶（写真右）650円
びん（左）1,500円



PIPPOのURL
<https://www.pippoec.com/>
ご購入には会員登録が必要です（無料）